

2022年10月31日
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

各位

スチュワードシップ・レポート 2022/2023 の発行について

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(取締役社長: 菱田 賀夫、以下「弊社」)は、本日、「[スチュワードシップ・レポート 2022/ 2023](#)」(以下、本レポート)をウェブサイトにて開示しましたので、お知らせいたします。

弊社は、日本版スチュワードシップ・コードを踏まえ、エンゲージメントや議決権行使などのスチュワードシップ活動を積極的に推進し、投資先企業に社会課題解決への取り組みを通じた企業価値向上や持続的成長を促し、運用財産の中長期的な投資リターン拡大を図っています。

本レポートは、弊社のスチュワードシップ活動に対する考え方をご紹介し、年間の活動実績を包括的にご報告するとともに、活動方針をご案内するものです。

2017年に他に先駆けて初版を発行して以来、毎年改訂を重ねておりますが、今回は、下記の諸点を強化ポイントとして改訂いたしました。本レポートを通して、お客様をはじめ幅広い方々に、弊社のスチュワードシップ活動に対するご理解を深めて頂ければ幸いです。

- 4つの特集記事を掲載(11~22 ページ)
 - ① 株式会社日本総合研究所との協働調査による「気候変動問題に対する SMTAM の取り組み」
 - ② 注目度の高まる「人権問題」
 - ③ 新型コロナウイルス感染症の蔓延によってますます重要度が高まった「医薬品アクセス改善と薬剤耐性問題」
 - ④ 機関投資家に期待されるスチュワードシップ活動のフレームワーク「ICAP(投資家気候行動計画)」の活用
- エンゲージメント事例紹介数を拡充(グローバル事例、37~40 ページ)
- パッシブ運用における ESG 投資の状況と弊社の取り組み(P57~60)。

弊社は、スチュワードシップに係る活動をフィデューシャリー・デューティの要と位置付け、「責任ある投資家」としての役割を適切に果たしてまいります。

以上